

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	Nuclear envelope 異常によるゲノム不安定性と発がん・悪性進展に関する研究
	研究目的	次世代シーケンサーを用いたがんゲノムの詳細な解析が進行し、がん細胞のゲノム全体に広範に広がる複雑な染色体異常をベースとした新規発がん・悪性進展機構の存在が明らかとなりつつある。複雑な染色体異常の原因として核膜 (Nuclear envelope) の異常が指摘されているが、研究は端緒にすぎたばかりである。本研究では、外科切除されたがん組織において、核膜の形成に関与するタンパク質の発現動態を免疫組織学的に解析し、異常を示す場合には、関連する遺伝子異常、ゲノム全体の遺伝子異常を調べ、当該発がん・悪性進展機構が関わるがん患者さんをどの様に治療して行くかの方針の検討に資する知見を収集する。
	研究対象者	2010年～2021年3月までの間に、当センターでがんの切除手術を受けた乳がん、肝がん、骨軟部肉腫の患者さんで、当センターの説明文書「遺伝子解析を含む医学研究への協力のお願い」の説明を受け、「子孫に受け継がれる遺伝情報を部分的に或いは全体にわたって解析すること」を含めて書面で同意して頂いている方とする。
	研究期間	西暦 2021年5月24日～西暦 2026年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理についての責任者	当センター	鷺見公太
試料・情報の利用者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	病理診断科、臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし